

ふなばし 市議会だより

No. 183

平成18年(2006年)9月議会

発行 船橋市議会

編集 広報編集委員会

〒273-8501

船橋市湊町2-10-25

電話 047(436)3012

<http://www.city.funabashi.chiba.jp/giji/gikaisite/>



完成間近の京成本線連続立体交差事業

西部公民館等建替建築工事請負契約の締結など17議案を可決

平成18年第3回定例会は、9月4日から26日まで23日間の会期で開かれました。

今定例会では、市長から17議案が提出され、老朽化が進んでいた西部公民館等建替建築工事請負契約、最新の情報システムに対応した総合消防情報システム整備工事請負契約を含めた全議案を可決しました。

最終日には、平成17年度各会計決算を審査する決算特別委員会を設置し、閉会しました。

主な記事

議案の概要、議案議決結果 P 2

議案質疑 P 3

各委員会報告、陳情議決結果 P 4

一般質問 P 5 ~ P 8

議案の概要

平成18年度補正予算

- 一般会計補正予算第1号
- 本庁舎整備費
- 1540万円の増額
- 保育所施設整備費補助金
- 4782万円の増額
- 個別予防接種費
- 6260万円の増額
- 新事業創出型事業推進費
- 300万円の増額
- 道路舗装維持費
- 9990万円の増額
- 道路改良整備費
- 2640万円の増額
- 道路用地購入費
- 4497万円の増額
- 道路整備諸経費等
- 513万円の増額
- 飯山満地区土地画整理費
- 5000万円の増額
- 下水道事業特別会計繰出金
- 80万円の減額
- (仮称)全国都市緑化ふなばしフェア事業費
- 1億2000万円の増額
- 就学援助費(小・中学校)
- 3716万円の増額
- 郷土資料館整備費
- 540万円の増額
- 債務負担行為
- 公園等用地買収費
- 限度額 元金1億5700万円に利息を加えた額
- 期間
- 平成18年度～26年度
- 国民健康保険事業特別会計補正予算
- 「第2号」

共同事業拠出金
18億5100万円の増額

下水道事業特別会計補正予算
「第3号」
公債費
5640万円の増額

介護保険事業特別会計補正予算
「第4号」
諸支出金
6620万円の増額

改正する条例

消防組織法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例

「第5号」
消防組織法の一部改正等に伴い、消防団員退職報償金の支給に関する条例等に引用する条文に変更が生じたため、規定を整備する。

国民健康保険条例の一部を改正する条例 「第6号」
国民健康保険法が、一部改正され、70歳以上で現役並みの所得がある者について本人負担割合が、2割から3割に引き上げられること及び出産育児一時金の支給額を35万円に引き上げるために規定を整備する。

障害者自立支援法の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例 「第7号」

障害者自立支援法の制定に伴い、介護給付費等に係る規定が施行されたため、身体障害者福祉センター条例等について所要の改正を行うもの。

知的障害児通園施設条例の一部を改正する条例 「第8号」
児童福祉法の一部改正により、利用者が施設に直接申し込みができる利用契約制度が導入されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

手数料条例の一部を改正する条例 「第9号」
宅地造成等規制法の一部改正され、宅地造成工事規制区域における宅地造成等の計画変更の許可申請に対する審査手数料について定めるもの。

公民館条例の一部を改正する条例 「第10号」
西部公民館の建替工事に伴い、工事期間中の代替施設を設置するため、所要の改正を行うもの。

消防局総合消防情報システム整備工事請負契約の締結について 「第11号」
契約金額
4億8720万円

高瀬下水処理場建設工事その31請負契約の締結について 「第12号」
契約金額
17億2200万円

西浦下水処理場高度処理機械設備工事(その5)請負契約の締結について 「第13号」
契約金額
3億8760万7500円

長津幹線管渠築造工事請負契約の締結について 「第14号」
契約金額
6億2475万円

西部公民館等建替建築工事請負契約の締結について 「第15号」
契約金額
6億5415万円

人事に関するもの 「第16号」
教育委員会委員任命の同意を求めることについて
篠田 好造(新任)

「第17号」
島崎 克美(再任)

人権擁護委員の候補者推薦について 「諮問第1号」
任期満了に伴う候補者の推薦
櫻井 一正(再任)

可決された意見書等 「第12号」
天皇皇后両陛下並びに秋篠宮親王同妃両殿下に賀詞を奉呈する件
中国における臓器摘出疑惑の解明に関する意見書

決算特別委員会

平成17年度各会計決算については14人の委員による決算特別委員会を設置し、11月7日から10日までの4日間、審査を行います。
委員は次のとおり。

- 委員長 鈴木 郁夫
- 副委員長 神田 廣栄
- 委員 角田 秀穂
- 高木 明
- 佐々木 克敏
- 川井 洋基
- 金沢 和子
- 草野 高徳
- 小石 洋
- 大矢 敏子
- 木村 哲也
- 佐藤 新三郎
- 小森 雅子
- さととももよ



会派異動のお知らせ
8月8日付けで「民主・市民クラブ」所属の池沢敏夫議員が「無所属」となりました。

会派名変更のお知らせ
8月28日付けで「民主・市民クラブ」が会派名変更により「民主党」となりました。

議案の議決結果	付託委員会	議案番号	件名	各会派の賛否			議決結果		
				自	新	緑		市	公
予算特別		議案第1号	平成18年度船橋市一般会計補正予算						可決
		議案第2号	平成18年度船橋市国民健康保険事業特別会計補正予算						可決
		議案第3号	平成18年度船橋市下水道事業特別会計補正予算						可決
		議案第4号	平成18年度船橋市介護保険事業特別会計補正予算						可決
総務		議案第5号	消防組織法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例						可決
		議案第11号	船橋市消防局総合消防情報システム整備工事請負契約の締結について						可決
健康福祉		議案第6号	船橋市国民健康保険条例の一部を改正する条例						可決
		議案第7号	障害者自立支援法の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例						可決
		議案第8号	船橋市知的障害児通園施設条例の一部を改正する条例						可決
建設		議案第9号	船橋市手数料条例の一部を改正する条例						可決
		議案第12号	高瀬下水処理場建設工事その31請負契約の締結について						可決
		議案第13号	西浦下水処理場高度処理機械設備工事(その5)請負契約の締結について						可決
		議案第14号	長津幹線管渠築造工事請負契約の締結について						可決
文教		議案第10号	船橋市公民館条例の一部を改正する条例						可決
		議案第15号	船橋市西部公民館等建替建築工事請負契約の締結について						可決
		議案第16号	教育委員会委員任命の同意を求めることについて						同意
		議案第17号	固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて						同意

議案質疑



日本共産党

岩井 友子

第1号一般会計補正予算
市債歳入で学校施設耐震補強を前倒し実施せよ。
答 歳入増分を直ちに歳出増に用いることはできない。
第4号介護保健事業特別会計補正予算
問 報酬引き下げによる市負担増分を利用者還元せよ。
答 現状還元余力はない。
第6号国保条例の一部改正
問 後期高齢者医療保険制度設立へ向けて市の立場は、運営主体広域連合に市の実態を示し働きかける。
答 運営主体広域連合に市第8号知的障害児通園施設条例の一部改正条例
問 ささんか学園通園児保護者負担を現状維持せよ。
答 市独自軽減策を行う。
問 新通園施設との料金格差は生じさせるな。
答 運営法人に、同様の食費負担を要請する。
問 自立支援法施行による歳入増6億の利用者還元は、利用者負担軽減を行う。
第10号公民館条例の一部改正
問 (仮称)坪井公民館整備と老朽化公民館建て替えとは、同時並行で進めよ。
答 坪井は用地選定中、老朽化した法典についても前向きに取り組む。
第11号消防情報システム工事請負契約について
問 日本安全設備センターの設計金額は妥当か。
答 過大設計金額ではない。

市清会

佐藤新二郎

緑清会、市清会を代表して市清会が質疑を行いました。
第1号一般会計補正予算
問 衛生費の個別予防接種費に関して、過去に予防接種による健康被害はあったか。
答 過去5年でみると、麻疹の予防接種による健康被害が1件あった。
問 商工費新事業創出型事業推進費について、インキュベーション施設建設はまちづくりに貢献することができるのか。
答 地域経済の活性化につながるが期待している。
問 教育振興費、就学援助費が増加していく要素は何か。
答 経済状況、社会状況の変化や、制度に対する周知が進んだことが考えられる。
問 松が丘の4丁目、飯山満・古和釜線、松が丘バス
問 23地区コミュニティセンターの設置する方向で整備を進めている。

新風

斉藤 守

自由民主党、新風を代表して新風が質疑を行いました。
第1号一般会計補正予算
問 市政70周年の全国都市緑化船橋フェアをどのようなフェアにしたいか。
答 全国の都市緑化の推進とともに、船橋の発展やまちづくりにつなげるよう、市民全体がかかわれるものにした。
問 子ども達への具体的な配慮は考えているか。
答 期間中、幼児、小中学生の入場料は無料にしたい。
問 シャトルバスが通る沿道や駅周辺はどのようにするの。
答 船橋市を訪れる方のために、できる限り市内全体を花と緑で飾れるようにしていきたい。
問 アンデルセン公園の駐車場対策は。
答 想定される必要台数の駐車場は確保し、不足分は無料のシャトルバスを北習志野駅と日大前駅から運行することで対応する。
問 周辺の交通対策についてはどうか。
答 現地調査を行い、交差点改良等、県と協議を進めている。
問 インキュベーション施設を建設するメリットはあるのか。
答 新事業創出、雇用促進、税収増加等、地域経済の活性化につながると期待している。

公明党

高木 明

第1号一般会計補正予算
問 予防接種がMR混合ワクチンに変更されたことは周知徹底されているか。
答 広報及び保育園・幼児教室等を通じ、年長児の保護者に通知した。未接種者には、12月ころ通知したい。
問 緑化フェアに関し、入園料の割引、多目的広場の構造、利用形態等の考えは。
答 期間中の子供料金は無料であり、前売り券の値引き販売は管理者と協議したい。多目的広場は、直径40メートルのドーム付きで、800以上の客席が設置可能な広場で、公式行事・イベントの実施、休憩場所など、多目的に活用できる。
問 広報及び保育園・幼児教室等を通じ、年長児の保護者に通知した。未接種者には、12月ころ通知したい。
問 緑化フェアに関し、入園料の割引、多目的広場の構造、利用形態等の考えは。
答 期間中の子供料金は無料であり、前売り券の値引き販売は管理者と協議したい。多目的広場は、直径40メートルのドーム付きで、800以上の客席が設置可能な広場で、公式行事・イベントの実施、休憩場所など、多目的に活用できる。
問 11号・第12号・第14号の工事請負契約について、安く落札された要因は、下請業者への影響、手抜きなど、工事は大丈夫か。
答 当市での工事実績確保のためであり、支払いや安全管理は適正に行つて聞ける。
第15号西部公民館等工事請負契約について
問 新しい公民館の特徴は、児童ホールと老人憩の家が併設され、音楽室、広い講堂の設置、障害者等への配慮として、エレベーター等を配置している。建て替え中は、利用者の活動に支障がないよう配慮する。

無所属

池沢 敏夫

第1号一般会計補正予算
問 多額の地方債をこの時期補正するのは異例であるが、その理由は何か。
答 県知事の許可制が今年度から協議制に変わったこととに伴い、同意を得るに当たり予算措置をした地方債のみが対象となるため。
問 高金利債務の借り換えはなぜ認められないのか。
答 今年度については下水道事業に限り臨時特例措置として7.3%以上の未償還企業債に対して借り換えができることとなった。
問 市債の借り換えなど国の制度にかかわる問題については、全国市長会などの組織を通じて、国に対し働きかけていきたい。
第7号障害者自立支援法施行に伴う関係条例の整備等に関する条例
問 第8号知的障害児通園施設条例の一部改正条例
問 支援費制度で支出が予想外に膨らんだから障害者に応益の負担を求めるのでは、自立の抑制策にほかならない。施設の使用料など市の支援策を問う。
答 身体障害、知的障害及び精神障害のサービスが一元化したことにより、遅れていた精神障害者のサービスが確保できる上、障害者の就労を強く推進していくことなど評価できる面がある。本施行後の状況を見きわめてまいりたい。

民主党

千葉 満

第1号一般会計補正予算
問 地方財政の安定的運営のため、地方六団体が結束して国と対峙すべきでは。
答 地方六団体と一致結束して、今後も不断の努力を積み重ねたい。
問 緑化フェア終了後もバスを活用し、アンデルセン公園への市民の足を確保してはどうか。
答 初めての無料シャトルバスの運行であるため、その利用実績を見て検討する。
第7号障害者自立支援法の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例
問 習志野市と同様の軽減策をとってはどうか。
答 談合だと言われるような入札結果が出たことを、どう評価しているのか。
答 ダイレクト型入札により、極めて適切な入札を執行しているが、これが一番いいかは他の自治体と情報交換し、研究したい。

市民社会ネット

浦田 秀夫

第1号一般会計補正予算
問 松が丘4丁目みどり公園用地取得の経過及び当該区間の都市計画道路整備について聞きたい。
答 現在、清水山バス停からパチンコ店付近までの約800mについて、早期に事業着手すべく国、県と協議している。
第7号障害者自立支援法の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例
問 障害者自立支援法の疑点、応益負担の考え方から障害者サービスに1割の利用者負担を求めることにある。障害者が生きてい

各委員会の報告

総務委員会

議案について
 第5号消防組織法に伴う関係条例の整理等に関する条例については、「字句修正の範囲なので、賛成」との賛成討論があり、全会一致で可決した。
 第11号消防情報システム

健康福祉委員会

議案について
 第6号国保条例の一部改正条例は、一番多い高齢者の病状と、それにかかる医療費の額等について質疑があった。
 第7号障害者自立支援法の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例は、利用者にとって従来と変わる

市民環境経済委員会

陳情について
 第40号アスベスト被害の啓蒙活動に関する陳情は、健康診断の相談とか補償を受けている人は市内にいくつあるか、市民館などを活用してアスベストの学習会を開催する要望が

第33号アスベスト使用施設従事職員の健康診断実施に関する陳情については、「退職者と在職者を同じ扱いにするよう要望する」との採択意見、「既に実施している」との不採択意見があった。

建設委員会

議案について
 第9号船舶市手数料条例の一部を改正する条例については、国のパブリックコメントの影響等の質疑、指定区域の全市拡大を求める賛成討論があった。
 第12号高瀬下水処理場建設工事その31請負契約の締結については、計画変更部分、工事の品質保証・管理監督方法、発注方式変更による

文教委員会

議案について
 第10号公民館条例の一部改正条例は、「使用料は無料にし、利用区分は3区分のままにすべきであり、反対」、「使用料は無料の方がいいが、将来の財政を考えると難しい。西部公民館建

予算特別委員会

第1号一般会計補正予算は、地方債補正が9月に行われた理由、ふえた分を新たな財源として活用する考えはないか。アスベストの封じ込め工事の流れ、安全対策はどうなっているか。混合ワクチンとなることの周知徹底はするのか。緑化フェアに関し、交通渋滞対策、入場料・駐車料金等の減免措置は考えるか。就学

陳情の議決結果

付託委員会	受理番号	件名	議決結果
総務	陳情第33号	アスベスト使用施設従事職員の健康診断実施に関する陳情	採択
	陳情第34号	航空自衛隊習志野基地へのPAC3配備見直しの意見書提出に関する陳情	採択
	陳情第35号	中国における法輪功学習者臓器摘出の実態調査に関する陳情	採択
健康福祉	陳情第36号	アスベストによる健康被害対策に関する陳情	採択
	陳情第37号	派遣社員の保育条件改善に関する陳情	採択
	陳情第38号	ウイルス性肝炎患者の早期救済等の意見書提出に関する陳情	採択
	陳情第39号	医療機関におけるカルテ廃棄の中止に関する陳情	採択
	陳情第21号	手術室へのビデオカメラ常時設置の意見書提出に関する陳情(継続審査事件)	採択
市民環境経済	陳情第40号	アスベスト被害の啓蒙活動に関する陳情	採択
	陳情第41号	馬込霊園へのアクセス道路建設に関する陳情	継続審査
建設	陳情第42号	都市計画道路3・3・7号線(夏見台6丁目及び馬込町周辺)に関する陳情	採択送付(全会一致)
	陳情第43号	信号機わき待機スペース確保(松が丘商店街・郵便局前)に関する陳情	採択送付(全会一致)
	陳情第44号	行田公園歩道橋北側に歩道橋等設置に関する陳情	採択
	陳情第45号	国有地買収(丸山3丁目)に関する陳情	採択送付
	陳情第46号	アスベスト分析・除去等への費用助成に関する陳情	採択送付(全会一致)
	陳情第47号	寺院・墓地等の建築計画撤回(坪井町)に関する陳情	継続審査
	陳情第48号	仮称ファースト・シーン津田沼(前原西4丁目)建設計画の指導に関する陳情	採択送付(全会一致)
	陳情第49号	マンション計画(仮称前原東5丁目計画)の指導に関する陳情	採択送付(全会一致)
	陳情第50号	仮称クレストフォルム津田沼(前原西4丁目)に関する陳情	採択送付(全会一致)
	陳情第51号	アドグランデ船橋山手(山手2丁目)に関する陳情	採択
	陳情第47号	習志野自衛隊近接地への高層建物建築中止に関する陳情(継続審査事件)	継続審査
	陳情第25号	飯山調整池の移管・自然環境保存に関する陳情(継続審査事件)	継続審査

こころがききたい 一般質問

日本共産党

高橋 忠
石川 敏宏

防災対策の徹底を早期に

問 避難所となる小中学校体育館の耐震補強については、具体的年度計画を立てては、

答 校舎の診断にめどが付いたので、今後は体育館の診断についても努力する。

問 阪神大震災の教訓を生かし、民間住宅の耐震補強について、耐震診断助成事業に対する市民へのPRは、

答 ホームページ、広報誌等でPRに努めている。

建設業退職金共済事業(建退共)への加入を

問 建退共制度は、労働者が働いた日数の掛け金が全部通算され、退職金が支払われるもので、公共事業では、この制度への加入が義務付けられている。現在工事中の前原西市営住宅の現場では契約どおりに建退共の掛け金が使われていない。



小・中学校体育館の耐震補強を

監督要領により確認し、現場確認の確認をしているが、局内で総合的に検討したい。

合併・政令指定都市の

考えを問う

問 合併推進が地方分権とは名ばかりで、地方への支出削減が最大の目標である。

答 合併の是非は最終的には住民投票で決定すべきでは、

問 住民投票を実施するには条例制定が必要であり、議会ですら十分審議されると考

答 市は、市民の機運の醸成と意向を確認していきたい。

税制改悪の中止を

問 船橋市都市センター所有のセントラルビルで、貸し金業法違反で処分された業者の賃貸契約を解除すべきと申し込んでいるが、

答 消費者金融は、国にお

市議会

佐藤 新三郎

町中の危機管理について

問 飯山満・古和釜線松が丘バス通り商店街の安全な歩道整備を含めた拡幅整備の、その後の進捗(進み具合)状況を伺う。

答 歩道が特に狭い清水山バス停からパチンコ店付近までの延長約800m区間は来年度から事業に着手すべく事業説明会や現況測量の実施を予定している。

いても問題となっており、契約解除を願っているが会社の意向もあり、そこまで至っていないのが現状である。

佐藤 重雄

福祉と生存権の関係を問う

問 介護度の高い高齢者が介護保険のみで生存できるのは7日のうち2日しかない。7日間、生存保障できるシステムと人的資源は、

答 介護保険のみで生活を支えることは無理。ポランティアとの連携を図り、地域包括支援センターが中核となりコーディネートする。

問 ホームレスに対する自立支援プログラムをいつまでに確立するのか。

答 昨年から職員2名により巡回相談事業を開始し、本年8月までに27人を路上生活から脱却させた。当面は巡回相談を基本とし、ホームレス支援を続けたい。

問 大穴、海老が作公民館大穴中学校周辺の安全な道路整備が住民から強く求められている。対策を伺う。

答 中学校用地を一部利用した歩道整備、側溝の整備、交差点の隅切りの確保を協議している。

問 子どもが犯罪から守る条例の制定を

答 子どもが犯罪に巻き込まれる事件が絶え間なく発生している。地域と行政が一体となり防犯活動を行えるよう条例で危機管理を定めるべきではないか。

答 制定の準備を進めてい



大穴の海老が作公民館入口

問 各所管ことは実施済みだが、全体は作成後に制度の取り扱いに変更もあり得るので、今後検討したい。

問 4月から、要介護度により福祉用具が取り上げられていくが、市独自の助成を実施する考えは、

答 社会保障審議会の論議を経て決定されたもので、今回の改正趣旨に反する施策は差し控えたい。

問 義足の一人暮らし男性が利用していた介護ベッドを取り上げられている状況をどう受け止めているのか。

答 国に対しこういう事例があることを申し述べ、対処したい。

問 認定こども園は、保育料の設定、入所認定が法人

答 認定こども園を問う

問 認定こども園は、保育料の設定、入所認定が法人

答 現在の基準に規定がないことから、支援を含め検討したい。

問 認定こども園を問う

答 認定こども園を問う

問 認定こども園を問う

答 認定こども園を問う

滝口 宏
高齢者福祉の健康増進

問 保険料を負担しているだけの元気な高齢者に、健康維持の支えとなるような表彰制度は考えられないか。

答 評価や感謝の思いを表彰の事業として実施するのは難しいが、いつまでも元気であれば、いつまでも健康維持等の施策の展開に努める。

問 高齢者の健康増進と介護予防への取り組みを伺う。

答 運動・口腔機能の向上、栄養改善を図る事業や健康相談、運動器具の利用等の健康増進に取り組んでいる。

問 船橋市犯罪のな

答 各所管ことは実施済みだが、全体は作成後に制度の取り扱いに変更もあり得るので、今後検討したい。

問 4月から、要介護度により福祉用具が取り上げられていくが、市独自の助成を実施する考えは、

答 社会保障審議会の論議を経て決定されたもので、今回の改正趣旨に反する施策は差し控えたい。

問 義足の一人暮らし男性が利用していた介護ベッドを取り上げられている状況をどう受け止めているのか。

答 国に対しこういう事例があることを申し述べ、対処したい。

問 認定こども園は、保育料の設定、入所認定が法人

答 認定こども園を問う

問 認定こども園を問う

答 認定こども園を問う

問 認定こども園を問う

答 認定こども園を問う

問 認定こども園を問う

視覚・聴覚に障害のある方へ

カセットテープによる「声の市議会だより」及び点字による「市議会だより点字版」を発行しています。希望される方は、議会事務局まで連絡してください。聴覚に障害のある方に本会議・委員会を傍聴していただくため、手話通訳者を配置します。傍聴を希望する7日前までに、議会事務局に申請してください。



新風

石渡 憲治
単車の駐車対策

問 道路交通法が改正され、取締りが強化された。船橋駅周辺には自動二輪の駐輪場を整備する必要があるのか。どのように対応するのか。

答 必要性は十分理解しているが慢性的な駐輪場不足であり、用地の確保が極めて難しい。駐車場法の改正後の推移を見ながら対応を検討していく。

海浜公園プール、アンデルセン公園内の池の安全確保

問 転んでもけがをしないようにプールサイドなどの床面を弾力性のあるものに改修できないか。

答 海浜公園では全体の80%の改修を終了している。アンデルセン公園では改修にあわせて順次、滑りにくく安全でかつソフトな素材を採用していく。

鈴木 和美

認定こども園の準備状況

問 担当セクションの設置に向けた進捗状況を伺う。

答 県では条例制定、基準案の作成作業が進んでいる。本市では関係部課で協議・調査研究中である。市内では来年4月に私立の幼保連携型施設の開設計画がある。

1歳6カ月児健康診査

問 子育て家庭の負担を少



市民サービスの向上を

なくし、安心して健診を受けられるために、関係医師会とどのような協議がなされているか。

答 アンケートによると保護者からは集団健診を希望する意見が多いが、小児科医が不足している現状などを総合的に判断し、医師会などと協議していく。健診回数や従事者の増員で待ち時間の短縮に努めている。

小石 洋

職員の窓口対応

問 市民サービスに徹する意識を、市民と直接に接する職員に対して、どのように研修しているか。

答 話し方や傾聴力の向上に研修している。職員が市民の目線に直接触れることで窓口対応の改善につなげるための研修などを行っている。公務員の使命や役割を十分認識した人材の育成に努めていく。

公共下水道の説明会

問 宅内排水工事の説明に

緑清会

大矢 敏子

実践的な防災訓練を

問 商店街に設置されているスピーカーを利用して、危機管理の啓発活動の一環に取り入れ、防災のために活用することを検討してもらえないか。

答 本町商店街、JuJuきたなら商店街の2つの商店街にスピーカーが設置されている。情報の伝達に商店街のスピーカーを利用して、啓発活動等使用できるように訓練への協力を含め、相談していききたい。

問 実践的でなく危機感を感じない、と言われる防災訓練だが、人の命にかかわる訓練なのだから、在宅者の確認を取ることを訓練に

つた場合は指導をするのか。
答 説明会でも質問を受ける。今後は、業者選定の留意事項及び費用等の説明も盛り込む。民々の契約ではあるが、トラブルが解決しない場合は、仲介・指導などの対応をしていく。

神田 廣栄

大宮神社交差点の拡幅と信号機の変更

問 市道飯山満・七林線大宮神社交差点の改良や道路拡幅のための買収状況は。時間がかかるなら、その間感応式信号機にできないか。
答 一部用地買収ができた

箇所を整備を今年度に行つた。信号機の変更は、警察と協議したが、交差点の整備完了後となる。引き続き地権者に用地協力の交渉をする。

高齢者直撃の税負担に悲鳴

問 老年者控除の廃止などによる税金負担増が高齢者を直撃している。市として目に見える形で独自の政策を実施する考えはあるのか。
答 少子化や高齢化などに対応するための地方税法改正に伴い、条例を改正した影響を受ける高齢者福祉サービスの受給者に配慮し、利用負担の引き下げなど独自のサービスを行っている。

谷口 昭夫

医療センターの役割と経営

問 公的な外部評価は受けているか。経営は非常に厳しいと聞いているが、経営の健全化や改革的な改善を図る計画にどう取り組むか。
答 日本の市立病院で初めて「ISO9001」を取得した。経営健全化を図る委員会や病床稼働向上委員会を充足し収益の改善を図ると同時に、地域医療における役割や将来像などを検討委員会でも議論している。

障害者自立支援法について

問 国の施行体制の不備から、福祉の現場に混乱や不安がある。施設入所者が退所を求められた場合、どのような対応策を考えるか。
答 現行のサービスは平成23年度末まで経過措置が取られる。国の動向を注視しながら、利用者への対応も配慮しながら調査研究していく。

野田 剛彦

給食費の未納

問 滞納金の状況はどうか。支払能力がありながら、支払わない未納者へ法的措置をとる考えはあるか。
答 未納者の多くは家庭の

事情によるものであると聞いている。法的措置は現在考えていないが、他市の状況を見ながら調査研究していく。

児童相談所の設置を

問 中核市で児童相談所が近隣市に設置されているのは高槻市と船橋市だけである。独自に児童相談所を設置する考えはあるか。
答 専門職員の確保が必要なことや施設整備などに多額の費用がかかることから大変難しいが、設置により子どもたちの利益に資するものと考えられることから、設置について研究を進める。

今後の医療体制と在宅介護(医療と福祉)

問 福祉タクシーの利用にあたり、利用範囲と適正な利用方法をどのように指導しているのか。
答 重度身体障害者及び要支援2、要介護者の通院や会合等の外出援助に利用されている。より一層の社会

木村 哲也

交差点等の整備状況は

問 中山競馬場入口から原木インターまでの交差点、右折車線、右折信号機などの整備状況は。
答 葛南地域センター等と右折信号も含めて交差点改良等を実施中。進捗率は交差点改良事業約45%、都市計画事業約66%と聞く。交差点から原木インターまでの車線の見直しは、この進捗状況を見て検討したい。

運動公園周辺の歩道は

問 運動公園周辺の歩道は



交差点の早期整備を

の意識を持っていただき、地域包括支援センターの役割等を周知していききたい。

自由民主党

藤尾 真子

介護現場のホームヘルパー等の医療行為

問 介護の現場では、ホームヘルパー等による医療行為に順ずる行為が善意で行われている。国は、一定の条件のもとに医療行為とはみなさない旨を通知したが、その解釈は難解で行為に対する責任はとらず、勉強会の実施もない。また、介護報酬でも評価されていない。地方行政として国に問い直すことが必要と思うが見解を伺う。

答 国の通知では、疲の吸引などの医療行為をホームヘルパー等の業務として位置づけていないことから、保健所では、患者やホームヘルパーなどからの問い合わせの対応に苦慮している。本年度に厚生労働省の調査が行われるため、その際に現場の実態を伝えていく。

医師集約化と中核病院

問 国は、産科、小児科医の激減に歯止めをかけるため地域の医師の確保支援、集約化への補助を行っている。緊急医療の70%は小児であり本市でも、市立医療センターのホスピス建設によりできるスペースに医師会の協力を得て、小児緊急夜急診をつくるべきだと思いが見解を伺う。

答 現在、小児医療研究委員会を設置し協議しており、

その中で方向性が示されるものと考える。

門田 正則

まちかどスポーツ広場の有効利用を

問 低下傾向の子どもの運動能力を伸ばすため、遊びの指導者の配置も考慮した地域全体での環境整備。また、フットサルやスケートボード、エゴロース(超軟式野球)等の新しいスポーツの場として有効利用の工夫を伺う。

答 スポーツ健康学科のOB、体育指導員の活用、地域やNPOとの連携も視野に入れ、新しいスポーツについても考慮しながら地域に根ざした拠点として有効活用を検討する。

問 運営や責任の所在がはつきりした団体やクラブの設置は。

答 総合型地域スポーツクラブ等の設立について積極的に推進していく。

京成船橋駅高架下利用は

問 京成高架下利用で市は駐輪場用地として約3千台分の面積を要望しているが、鉄道事業者に対して公益施設として、駐輪場の建設を要望してはどうか見解を伺う。

答 鉄道事業者の駐輪場設置等は、設置協力義務となつていないため設置のすべてを任せるのは難しいが、自転車利用者の大半が鉄道利用者と思われるため、今後用地提供を含め協力を求めていく。



まちかどスポーツ広場の活用を

佐々木 克敏

防災訓練でのAEDの活用

問 総合防災訓練のメイン会場と一部会場でAEDの訓練が行われたが、全会場で訓練、啓発等を実施すれば、AEDの認知に効果があると考えるがどうか。

市民社会 ネット

さとう ももよ

安全に歩ける町を

問 都市計画道路3・5・31号線(西船橋駅印内線)の道路整備が進んでいるが、踏切改善も必要ではないか。

答 本年度は京成線踏切手前の用地買収を積極的に実施している。進捗状況を踏まえ、今後は京成電鉄と協議していく。

葛飾川・都市水路計画策定モデル地域選定

問 選定をチャンスとし、市民との協働事業として活用すべきだ。市長に伺う。

答 葛飾川調整池を保全したいという地域の方々の声



葛飾川を市民との協働事業に

横 啓三子

地方分権について

問 分権の基本は住民自治

練習AEDや指導員に限りがあり、現状では難しいが、チラシ配布等の啓発活動を消防局や所管課と協力し各会場で実施していく。

商業の活性化を

問 商業振興基本条例の必要性を訴えてきたが、本市は条例を作成する気はあるのか。

答 商業だけでなく、産業全般を含めた条例が必要と考える。現在、条例制定に向け部内で事務を進めており、今後は商工会議所等との調整・協議を進めていく。

社会的弱者の把握を

問 独居老人や障害者等の災害時に要支援と思われる訓練が行われたが、全会場で訓練、啓発等を実施すれば、AEDの認知に効果があると考えるがどうか。

があつた。潤いと安らぎのある新たな葛飾川せせらぎ構想を進めたい。これは子ども達にも良い教育になると考えている。

無所属

池沢 敏夫

新しい発想のまちづくりを

問 市政を運営していく上で必要な課題に取り組んでほしいが、特色あるまちづくりといえる施策がない。例えば不法駐輪対策を徹底し、どのまちよりもきれいな導入はいつ頃になるか。

答 年度内に方針を決めたいと考えている。

高根台第一小学校の統合

問 合併ではなく新しい学校として始めたいという保護者の気持ちはどう考えるか。

答 子ども達や保護者の気持ち

方を把握するためのリストを国が求めている。災害発生後の被害を最小限に抑えるリストの作成は、個人情報保護のため同意を得て作成する方法ではなく、関係部局の情報で全体を把握することを優先して作成すべきだと思つて見解は。

女性センターでの配布物

問 内容を見た方が危惧している。どのような印刷物か。

答 性的にかなり踏み込んでいて読み上げられない。生き方相談業務の受託法人への支払い実績は。

中村 実

元女性センター専門員による税金の無駄使いについて

にする、交通マナーにおいてどのまちよりもモラルのあるまちにするなど、新しい発想でまちづくりや教育施策を行うことが必要ではないか。

答 市民との協働による船橋独自のまちづくりを進めていく。教育では心豊かたたくましい児童生徒の育成を家庭や地域と連携し、社会の変化に対応した教育課題の解決に取り組んでいく。

持ちを組み入れて進めたい。

住民税等の負担増

問 市民の悲鳴を国に伝え大幅な負担増の中止を求めべきだ。また、市独自の減免制度を作るべきだ。

答 国への要請等は考えていない。市独自の新たな減免制度も難しい。

旅費日当を発生させ横浜の女性協会に出かけている。郵送で済むことである。市民の方がこのようなことを許すとも思ふのか。

答 このようなことがないように厳正に対応して行く。

問 国からのガイドラインの報告書では、災害時要援護者の支援についての課題や方向性等も示され、リスト作成のための具体的方策を検討中である。

問 ポスター借用のために

答 17年度は231万円。印刷物配布基準作成に際し検討していきたい。

NPOへの多額の公金支出

問 議員である妻が理事を務め、監査の役目の監事を夫が務めていた事実が議員としての資質と夫妻の感覚を指摘する方も多い。どう受け止めるか。

答 NPOの認証は県知事が行っており、市は判断する立場にない。

国語教育の大切さについて

問 国語力向上推進委員会の役割を問う。

答 国語科指導はもとより、学校教育活動全体における国語指導にも目を向ける。

託児ルームのご案内

本会議・委員会を傍聴している間、小さなお子さんをお預かりします。7日前までに議会事務局へ連絡してください。(1歳児から就学前の幼児が対象です)



公明党

松崎 裕次

博物館のネットワーク化

問 昭和史など現代史の展示を充実させていくべきではないか。また、市内にある博物館、資料館のネットワーク化を構築する必要があると考えるが。

答 郷土資料館の常設展示において、近現代史の資料内容を充実していきたい。また、ネットワーク構築について、私立の博物館なども含めた地域丸ごと博物館化の研究を進めていきたい。



生徒の希望に沿った部活動を

ちば若者キャリアセンター

問 本事業は、平成19年度より国から県の事業となるが、当該施設は本市にあることから、運営費の一部を負担し、この事業の運営に

答 本市の雇用政策、産業政策などについて、積極的な連携を保ち、効果的にサービス提供を行うため、県と協議を進めていきたい。

問 必要な研修等を受講し公平かつ公正に事務審査が行われるよう審査・調査員の資質向上を図っている。

答 認定にはコンピュータによる一次判定と審査会による二次判定が行われているが、二次判定で程度が変わる割合と要因は、また具体的な指針は。

問 生徒のニーズがあるのにそのクラブがない。顧問がいなかったり部活動ができない等のケースはあるか。

答 学区内に希望の部がない場合は、学区の変更を認めている。顧問はいるが、部活動の位置づけをどうするか。

問 大型店の郊外進出の歯止め、人口減少や高齢化社会に対応した街づくりなど、よりコンパクトシティを目指す方向性が明確化された。本市のまちづくりはどのような影響をもたらすか。

問 産前産後の健診費用の助成。助成拡大は市民の声も多く、強く要望するものがある。佐賀県唐津市では、

問 安全・安心のまちづくり。習志野台8丁目県営住

問 本市防災マップの作成について伺う。

答 来年市政70周年の区切りとして作成していく。

問 家庭を作り産み育てたいと思う人に支援することが重要である。本市の取り組み状況はどうか。

答 ふなばし・あいプランを策定しており、これに基づき子どもを産み育てやすい施策を展開している。

問 市営住宅に新婚枠を設け若者に支援ができないか。

答 市営住宅の供給計画の中で検討する。

問 市民や本市を訪れた人にも、町の地理や方向、施設の位置がわかりやすくなる公共サインを設置するため、整備指針を策定し設置推進に取り組みむべきでは。

答 整備指針を持つ他市の事例を参考に検討研究する。

問 維持費用を企業広告収入で賄う公共サインCM制度も考えるべきではないか。

答 他市の実態や費用対効果を調べ研究する。

問 入院費助成は1日の入院から支給するよう改正されたが、通院費用の助成についても小学校就学前までに拡大すべきでは。

答 県より1歳引き上げて対象を拡大した。4歳未満は入院・通院、4歳から小学校就学前までは、入院費用を助成している。通院費用の助成拡大は、19年度予算編成で協議していく。

問 乳幼児医療費の助成。入院費助成は1日の入院から支給するよう改正されたが、通院費用の助成についても小学校就学前までに拡大すべきでは。

答 県より1歳引き上げて対象を拡大した。4歳未満は入院・通院、4歳から小学校就学前までは、入院費用を助成している。通院費用の助成拡大は、19年度予算編成で協議していく。

問 習志野台4丁目NTT東日本前の市道拡幅整備は事業効果が期待できるか。

答 歩行空間確保のため、関係地権者と協議し、19年度事業化に向け検討する。

問 災害時は医療の仕組みそのものが変わる。その担い手は誰なのか、その理解の深まりも期待し、トリアージとトリアージ・タッグの理解と周知をすべきだ。

答 今後ホームページで紹介し、防災対策の事前講座を利用し、広く市民にトリアージを啓発していきたい。

民主党

小森 雅子

地域福祉の推進

問 地域福祉で大きな役割を担っている地区社協の活動には町会・自治会との連携は欠かせない。町会・自治会活動が活発な地域は地域福祉活動が活発であるが、そうでない地域は地域福祉活動が鈍い状況があるがどう対策をとるのか。

答 市社協・地区社協の広

問 対応には学校と家庭の協力が不可欠だが、信頼関係がうまく築けていない場合も多い。特に小学校においては、学級担任にすべてを任せるのではなく、複数の先生で子どもを見守り、解決していくことが必要ではないか。

答 日常の情報交換や学年会・生徒指導部会などで

問 京成海神駅のバリアフリーを再三にわたり求めているが、乗降客数が5千人未満の駅では平成23年以降の対策になるとの答弁であった。23年度には対策はとるのか。

答 鉄道事業者は、平成22

問 年までの適合努力義務が課せられている駅を優先的に整備し、めどがついた段階で実施を検討すること。この点だが、近くに社会保険船橋中央病院があり、高齢化が進み、階段利用が困難な利用者が多いという特殊事情を説明し、できる限り早期の対応を要請していく。

問 ペットボトル収集対策。ペットボトル収集で成果を上げている塚田地区を例に前回の議会でもペットボトル収集対策を検討するよう求めたがどうなったのか。

答 拠点回収箇所の増設やごみステーションでの収集

問 妊婦5か月から出産まで6回分の健診料を半額助成するなど本市より手厚い助成がある。少子化対策としても助成の拡大をすべきでは。

答 妊娠前期と後期に各1回、35歳以上の方には後期に超音波検査も実施しており、現行どおりでいく。

問 市内の県が管理する児童公園と市が管理する西公園の一元化により安全管理が図れないか。今年、この公園は事件が起きているので。

答 県からの用地移管・賃借ができないので、一元化は難しいと考える。

問 習志野台4丁目NTT東日本前の市道拡幅整備は事業効果が期待できるか。

答 歩行空間確保のため、関係地権者と協議し、19年度事業化に向け検討する。

問 災害時は医療の仕組みそのものが変わる。その担い手は誰なのか、その理解の深まりも期待し、トリアージとトリアージ・タッグの理解と周知をすべきだ。

答 今後ホームページで紹介し、防災対策の事前講座を利用し、広く市民にトリアージを啓発していきたい。

問 本市防災マップの作成について伺う。

答 来年市政70周年の区切りとして作成していく。



早期のバリアフリー化実現を



ペットボトル収集対策

問 ペットボトル収集で成果を上げている塚田地区を例に前回の議会でもペットボトル収集対策を検討するよう求めたがどうなったのか。

答 拠点回収箇所の増設やごみステーションでの収集

次の定例会は11月27日(月)開会の予定です

請願・陳情の受理期限は、11月24日(金)午後5時です。予定審議日程

月日(曜)	開会時間	主な議事
11月27日(月)	午後1時	開会、議案提案説明他
12月1日(金)	午後1時	議案質疑
12月4日(月)~8日(金)	午後1時	一般質問
12月12日(火)	未定	常任委員会
12月13日(水)	未定	予算特別委員会
12月18日(月)	午後1時	各審査報告と採決、閉会

「市議会だより」に対するご意見・ご感想をお寄せください。
〒273-8501
船橋市湊町2-10-25
船橋市議会 広報編集委員会
電話 047(436)3012
FAX 047(436)3013
Eメール gikaishomu@city.funabashi.chiba.jp